

東海市生物調査 令和7年度調査結果

1 調査項目・調査期間・調査方法

調査項目	調査期間	調査方法
ほ乳類	令和8年 1月22日～2月19日	自動撮影カメラを1地点当たり2個程度設置した。
鳥類（冬季）	令和8年 1月22日～23日	調査対象地内を任意に踏査し、出現した個体や鳴き声を記録した。
鳥類（春の渡り）	令和8年 3月18日～19日	調査対象地内を任意に踏査し、出現した個体や鳴き声を記録した。
昆虫類	令和8年 2月18日～19日	調査対象地内を任意に踏査し、直接観察法、見つけ採り法、ビーティング法などを用いて、目視及び採集された昆虫類を記録した。また、フユシャク・キリガ類を対象に夜間調査を実施した。
両生類・は虫類	令和8年 3月17日～18日	調査対象地内を任意に踏査した。

2 調査結果

調査項目	確認種数	確認種
ほ乳類	1目2科3種	(重要種) なし (その他) キツネ、タヌキ、ハクビシン
鳥類（冬季）	12目28科64種	(重要種) ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、カワアイサ、コサギ、バン、ケリ、シロチドリ、セイタカシギ、ハマシギ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ、カシラダカ など (その他) カイツブリ、オオバン、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ など
鳥類（春の渡り）	12目30科58種	(重要種) ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、コサギ、バン、ケリ、セイタカシギ、ミサゴ、ハイタカ、オオタカ など (その他) カモ類、カイツブリ、オオバン、ミサゴ、イソシギ、ヒバリ、イワツバメ、ウグイス、エナガ、ムクドリ、スズメ、ツグミ など

調査項目	確認種数	確認種
昆虫類	8目21科49種	(重要種) なし (その他：日中調査) ケブカカスミカメ、ヒメツノカメムシ、ツヤアオカメムシ、 ヤマトクサカゲロウ、アシマダラヒメカゲロウ、クチグロヒラ タアブ、ナミテントウ、クロウリハムシ など (その他：夜間調査) シロフフユエダシャク、フサヒゲオビキリガ、ヨスジノコメ キリガ など
両生類・は虫類	3目6科7種	(重要種) イシガメ (その他) ヒガシニホンアマガエル、ウシガエル、クサガメ、 ミシシippアカミミガメ、ニホンヤモリ、ヒガシニホントカゲ

※重要種の選定基準

【ほ乳類、昆虫類】

- ・文化財保護法（昭和25年、法律第214号）
- ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年、法律第75号）
- ・環境省レッドリスト2020の公表について（令和2年3月27日、環境省報道発表資料）
- ・レッドリストあいち2025（令和7年3月、愛知県）

【鳥類、両生類・は虫類】

- ・文化財保護法（昭和25年、法律第214号）
- ・絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（平成4年、法律第75号）
- ・環境省 第5次レッドリストの公表について（令和8年3月17日、環境省報道発表資料）
- ・レッドリストあいち2025（令和7年3月、愛知県）